

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[金沢市立小坂小学校] 担当教諭名[小幡 啓子] (4年3組 29名)

交流相手国[オマーン]

海外学校名[Shumoo' a Al-Marifa] 担当教諭名[Shaima Ahmed]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	金沢の伝統文化を調べよう オマーンの友だちと交流しよう	18+ 課外
	英語	Where do you live?(自己紹介をしよう)	2
	学級活動	会社活動を工夫しよう	8+ 課外

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	日本・金沢とオマーンの伝統と文化を伝え合おう
絵に込めたメッセージ	遠く離れた国のお友だちと、それぞれの国の伝統と文化を伝え合った。国旗、民族衣装、お菓子が共通のキーワードとなり、オマーンからの構図の提案を受け下書きを考えた。地球上で手をつなぐ人々が、子どもたちの平和への願いの表れである。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介会社・紹介ビデオ作成会社・壁画制作会社からの提案で、全員が英語の自己紹介を考え、日本とオマーンの文化・伝統を調べ、壁画を考えたことが、児童の協力する気持ちと達成感を生んだ。 児童が人とつながるよさを感じられた。 	<ul style="list-style-type: none"> アートマイルの活動を教育課程にどう位置づけていくか、計画を立て実施することに調整を必要とした。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
オマーンを身近に感じ、暮らしや学校の様子にさらに興味をもっている。サウジアラビアとイランの対立を心配したり、オマーン産のインゲン豆が日本市場に出回っていることを見つけたりして、社会的な視野が広がった。また、英語を話し、いろいろな国の人と知り合いたいと言っている。	相手への思いやりと共通の言語があれば、国や風習が違って人も結びつくことができると実感した。中東オマーンの豊かな生活の様子や子どもたちの英語は、アートマイル前には知り得なかったことで、どの国も子どもも笑顔で学ぶ世界になってほしいと思う。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	・オマーンの友だちと交流するための会社を設立し、活動計画を立てる ・英語での自己紹介を知り、紹介カードを書きフォーラムで交流する。	昨年の6年生が行っていた活動に参加できることをとても喜び、自発的に会社を設立し、意欲的に英語の自己紹介を練習していた。	英語2 学級活動4
テーマ学習	6月～ 11月	・金沢の文化と伝統工芸、オマーンについて調べ、ビデオレターをつくりフォーラムで伝える。 ・オマーンのビデオレターを鑑賞。 ・100人村ワークショップに参加。	休み時間まで、進んで調べ活動を行い、分かったことを新聞にまとめた。伝えたいことを決め、スライドショー作成アプリ「ロイロノート(Loilo 社)」を使って、協力してビデオレターを作った。	総合11
構図決定	12月	・壁画制作会社がテーマと題材を決め相手校に提案。双方で構図を検討・決定する。 ・フォーラムで下書きを提案する。	絵の得意な壁画制作会社の社員たちが、休み時間だけで案を作り、全員に分かりやすく提案した。全員が具体的な制作活動のイメージが持てた。	学級活動2
壁画制作	12月	・壁画制作会社によるグループ分けと彩色の指示に従い、全員で着色する。 ・壁画に同封するカードを書く。	全員が楽しく準備・彩色・片づけに取り組んでいた。オマーンの方はクリスマスを祝わないことを調べてきた児童がいて、カードの内容を工夫していた。	総合5 学級活動2
鑑賞・振り返り	3月	・完成した壁画を鑑賞し、カードを読み、ふりかえりをする。 ・オマニーハロワを楽しむ。	絵がつながって完成していることに感激し描いてくれた友だちに感謝していた。初めて食べる味に笑顔だった。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	工芸や遊びなど、以前は当たり前だと思っていたことが実は日本・金沢の文化だと気づいた記述が多かった。
異文化の理解	B	4	服装や建国記念日の写真を見て、日本との違いを感じ取った感想が多かった。オマニーハロワに驚いたり喜んだりしていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	英語の授業ではまだ学習していない単語も用いながら、自分のことを英語で話そうとする姿が見られた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	テーマに沿って、取材や調べ活動を行う力が伸びた。また、要点を絞って発信することが分かりやすさにつながることを学習した。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	もともと仲のよいクラスで、男女関係なくかわりあって活動できていた。オマーンの手紙を思い浮かべてカードを工夫していた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	3つの会社は、いずれも社長を中心に休み時間を有効に使って考え、クラス全員が3つの仕事を協力して行うことができていた。
学習を追究する意欲	A	5	「お礼のビデオレターを作りたい」と、ついた力を生かし次の活動を考える意欲がどの児童にもある。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	絵の好きな壁画制作会社の児童が中心となって描き方を提案した。作業のみの児童も意欲が高かった。
作品を鑑賞する力	B	4	色の使い方、手をつなぐ子どもの服装、椰子の木の描き方など、細部の描写と絵のつながりに感心していた。